

# あさひ タウンメイト

毎月2回、5日・20日発行

2013年1月20日

発行：朝日新聞経営研究センター タウンメイト編集室

〒253-0083 茅ヶ崎市西久保1312-1 ASA鶴が台ビル4F

☎0467-51-4106 FAX0467-51-3941 <http://www.asahi-kc.com>

発行地域：

ASA鶴が台・ASA寒川・茅ヶ崎西部・ASA平塚東部北部 担当地区

2013.1  
Vol.195

おすすめ

WINTER  
EVENT  
2013  
冬のイベント

## 江の島ウインターチューリップ

江の島サムエル・コッキング苑では2万本のウインターチューリップが花を咲かせています。

◆期間 1月末頃

◆会場 江の島サムエル・コッキング苑

◆チューリップのライトアップ 17:00～20:00



\*写真はイメージです

## パルティンアイランド江の島



湘南の宝石のラストを飾る光のアートイベント。ミラーボールの光が織りなす輝線が会場中を飛び交い、ライトバルーンの光が揺らめく幻想空間は、まさに壮大でファンタジックな光の世界です。今年は、記念すべき10回目の開催となり、イベントの規模も大幅にパワーアップして開催します。

\*写真はイメージです

◆日程 2月2日(土)～2月14日(木)

◆時間 17:00～20:00(入苑は19:30まで)

◆会場 江の島サムエル・コッキング苑 / 江の島シーキャンドル / 亀ヶ岡広場

◆料金 ◇江の島サムエル・コッキング苑入苑料 大人200円 / 小人(小学生)100円 ◇江の島シーキャンドル昇塔料 大人300円 / 小人(小学生)150円

◆問合せ 江ノ島電鉄株式会社 0466-24-2715

\*イベントの詳細はシーキャンドルのHPでも確認できます <http://enoshima-seacandle.jp/>

## 箱根ラリック美術館 冬イベント

### ラリック ウインターライト レビュー '12-'13

箱根ラリック美術館では、ラリックのガラスパネル作品で車内が装飾されたオリエント急行のサロンカーを、特別展示「ル・トラン」として通年公開しています。



イベント期間中は車窓に、幻想的にライトアップされたラリックのガラス作品が10数点展示されています。

◆期間 開催中～3月31日(日)

◆会場 箱根ラリック美術館 特別展示「ル・トラン」



### 特別展示「ル・トラン」

◆公開時間 10:00～17:00(最終予約16:00)

◆所要時間 約45分間(映像説明、車内見学)

◆定員 1回につき20名 ◆予約 当日現地予約制

◆特別展示見学料 2,100円(コーヒー or 紅茶・デザート付き)



花器「シリウス」1945年頃



香水瓶「彼女たちの魂」ドルセイ社 1913年

### 冬季特別展示

#### 「梅だより ラリックの作品とともに」

梅にまつわるラリック作品の数々を、時節に合わせて展示しています。

◆期間 開催中～3月中旬まで

◆会場 箱根ラリック美術館 2階常設展示室

◆場所 足柄下郡箱根町仙石原186-1 0460-84-2255

◆営業時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

◆営業日 年中無休

◆入館料 大人1,500円、大学生・高校生・シニア(65歳以上)1,300円、中学生・小学生800円

\*レストラン、ショップ、庭園の入場は無料

## EVENT イベント

### 吾妻山 菜の花ウォッチング



見頃を迎えた吾妻山では菜の花にまつわる各種イベントが始まります。菜の花Wラリーと称したレシートラリーやスタンプラリーなども開催されます。

◆開催日 1月12日(土)～2月11日(月・祝)



#### イベント情報

◆地場産品販売会 1/20(日)・26(土)・27(日)・2/2(土)・3(日)9:00～15:00 駅前町民会館

◆吾妻さんよさこいパレード 1/20(日)

ステージ11:00～、パレード11:40～ 梅沢旧東海道

◆商工会青年部模擬店 1/27(日)9:00～15:00 駅前町民会館北側

◆北口お休み処 1/27(日)10:00～15:00 北口クワハラ家具店駐車場

\*甘酒無料サービス他

◆雛の吊るし飾り展 2/2(土)・3(日)

10:00～15:30 知足寺 2/16(土)・17(日)10:00～15:30 川勾神社

◆野点の会 2/10(日)10:00～12:00 徳富蘇峰記念館

\*樹齢300年を越す古木の梅園でお茶を楽しみます。

◆徳富蘇峰記念館 菜の花ウォッチング期間中開催の企画展「新島八重からの6通の手紙展」「蘇峰が愛した富士山コレクション展」「徳富蘇峰生誕150周年記念秘蔵写真150枚に見る明治・大正・昭和写真展」10:00～16:00(月曜休館)

◆ふたみ記念館 1/12(土)～2/11(月・祝) 10:00～15:00

\*コーヒー・お茶など無料サービス

◆問合せ 二宮町観光協会 0463-73-1208

## STAFF スタッフ紹介

私のおすすめのお店



ASA ASA 平塚東部北部

おかざき こういち  
岡崎 江一

台湾料理の龍翔さんは、メニューも豊富でボリューム満点。おまけに安く美味しく。働き盛りのお父さん、食べ盛りのお子さんにピッタリです。

昨年5月にオープンした台湾料理「龍翔」。オーナーの鈴木鴻志さんに話をうかがいました。「地域の人たちに美味しい料理をたくさん食べてもらいたいので価格は抑えめです。お米は地元の農家の方から仕入れた平塚産のキヌヒカリを、野菜もできる限り地元のものを使っています。地産地消が一番ですから」。時間の許す限り、オーナー自らよい食材を探して歩くそうです。

台湾料理が辛いのは、湿気の多い台湾では汗をかいて毒を出すためといわれています。味付けは日本人の口に合っていますが、本場の台湾料理がお好きなたには、もっと辛くすることも。逆に辛みのない料理もたくさんあります。

平日の昼は日替りランチを目当てに多くのお客さんが、メインの料理にラーメンとご飯がついて700円。各種ラーメンとご飯物が組合せ自由のラーメンセットも700円とお手頃価格です。

「ボリュームは十分。食べきれなくてお料理を持ち帰るお客様も多いです」とオーナー。食べ放題、飲み放題プランや本格的なコース料理も用意されています。ぜひ一度召し上がってみてください。

エビチリ 880円



台湾ラーメン 480円



「龍翔」オーナーの鈴木鴻志さん

台湾料理 龍翔

平塚市大神1933-4

TEL 0463-71-5892

◆営業時間 / 11:00～14:00  
17:00～0:00

◆駐車場 / 有



「VICTORY!」は、『湘南ベルマーレ』というJリーグクラブのホームタウンに住むみなさんに、サッカーを通じてより多くの人とふれあい、地域への思いを深め、スポーツの楽しさを体感していただきたい、そんな願いを込めてASAがお届けする情報紙です。

企画・制作 / 株式会社 朝日新聞経営研究センター 協力 / 株式会社 湘南ベルマーレ



## 経験を重ねるほど面白くなる。 ビーチバレーは生涯スポーツ



NPO 法人湘南ベルマーレスポーツクラブの  
ビーチバレーチームに所属する白鳥勝浩選手。

2008年北京オリンピックでは、  
日本ビーチバレー男子史上初の勝利を挙げ、  
2012年ロンドンオリンピックにも連続出場。  
国内ではビーチバレージャパン10連覇の偉業を  
成し遂げています。

平塚を拠点に活動する白鳥選手にビーチバレーの魅力、  
今後の活動について聞きました。

ビーチバレー  
北京・ロンドン五輪日本代表

# 白鳥 勝浩

Katsuhiko SHIRATOIRI

### インドアからビーチバレーに転向

----大学までは6人制インドアのバレーボール選手だった白鳥選手ですが、ビーチバレーに転向することになったきっかけは何ですか？

「転向のきっかけになったのは、ビーチバレーの大学選手権という大会です。インドアの場合はセンターで、速攻や移動攻撃、ブロックなどをやるポジションでした。ラリーが続いても1度もボールに触れないでポイントが決まってしまうことさえある6人制に比べ、ビーチバレーは1回のラリーで最低でも1度は必ずボールに触れるので、自分のプレーがそのまま試合の勝敗を左右します。試合中は監督もコーチも選手に指示を出すことができないので、すべて自分たちで作戦をたてる。そんなビーチバレーの面白さ、手応えが僕の目指すところと一致して、転向に踏み切ったのです」

### インドアバレーボールとの違い

---同じバレーボールでも、プレーする上でインドアとの違いは何でしょう。

「体育館の中で行う6人制とちがって、屋外の砂の上でプレーすること。これが一番わかりやすい違いでしょう。インドアから転向した選手が、もっとも苦労するのはボールがコントロールできなくなる『風』。それ以外にも屋外であるがゆえに、暑さ、寒さ、雨など不安定で厳しい自然環境に対処しなければならないのが、インドアにはないビーチバレーの難しさです。また選手は2人だけで交代が効かないので、どちらが欠けても試合が成り立たない過酷なスポーツです。」

さきほど監督は選手に指示ができないという話をしましたが、拍手をすることさえ許されません。なにか合図を送っているように誤解されるからです。ゲームが始まったらパートナーと2人だけ。自分のことはもちろんパートナーの調子、対戦相手の様子、試合の流れを見ながらプレーします。

そんなビーチバレーに魅力を感じながらも、最初はその面白さを十分に理解できていなかったかもしれません。経験を重ねていくうちにその奥深さがわかってきました。

それに加えてメンタルがとくに重要なスポーツなのです。言葉は悪いですが、ダメな方の選手が一方的に狙われる。1・2・3と交代で打つので、3本目のスパイクが弱い選手が徹底してサーブで狙われるんです。それはもう容赦ない。

それで失点を重ねていくと、気持ちはどんどん落ち込むし、応援してくれるお客さんに対しても、パートナーに対しても申し訳ない気持ちでいっぱいになって、最初はどうしていいかわからなくなります。それに打ち勝つメンタルを持っていないと強くなることはできません。反面、勝ったときは自分の力を発揮できた充実感、満足感でいっぱいになります」

---お話を聞いていると、ビーチバレーは長く経験を積んでいる選手に有利なスポーツのようですね。

「まさにそうです。自然環境への対処のしかた、試合における戦略など、試合経験を積んでいる選手が強いんです。風が強いときはどのようにサーブを打ち、どんなトスを上げるかというのは、いろいろな状況で実績を積んできた選手の方がうまく対応できますね。だからプレーヤーの年齢層が、他のスポーツに比べて高いのでしょう。」

年齢とともに体力は落ちていきますが、キャリアの長い選手は効率よく体力を使う方法を心得ています。ボールをすべて拾いにいくわけではなく、走る距離やジャンプのしかたなど、体力の消耗を最小限に抑えてテクニックを使い、勝負どころでポイントを稼ぐ。ベテランのやり方です。それに比べて若い選手はがむしゃらにボールを追いかけてしまう。僕も若いときは一生懸命動いているのに、そうでもない年上のチームの人たちに勝てないのが不思議でした。そういう若手と熟練者が対戦するゲームも、観ていると面白いですよ」

---砂の上でプレーすることの難しさは？

「砂のコートを使って裸足でプレーするのもビーチバレーならではのですね。会場によって砂の質がちがいで、その砂に合わせた身体の動かし方、足の踏み方をしなければなりません。砂の上で走ったりジャンプをしようと、崩れて足が埋まってしまうかもしれないけれど、踏み方によってキュッと止まる部分があるので、そのコツをつかめば、ジャンプしたり切り返しを効かせたりもできるようになります。それでも、踏んでいると砂が崩れて地面にデコボコができるので、それを足で均らしながらプレーするんです。ブロックやスパイクを飛ばすときに、へこんだ場所で飛ばすと5cmくらい低くなってしまいます。選手はみんな、合い間に足で砂を均すのが癖になっていますよ」

### パートナーの存在

---北京、ロンドンのオリンピックに出場したときのパートナーは、インドアでも活躍された朝日健太郎さん(2012シーズンをもって現役引退を表明)でした。パートナー選びはどのように行われるのでしょうか。

「パートナーを選ぶのは選手自身。簡単に言ってしまうと自分から営業をかけるんです。『僕はこういう選手ですけれど、組んでみませんか』という具合に。」

僕の場合、ペアを選ぶ上での第一条件は目標の一致です。その選手とどんなに仲が良くても、お互い高い技術を持っていても強いチームになるとは限らない。でも目標が同じ相手とならば、嫌なことや難しいことがあっても共通の目標を達成するために、足並みをそろえて頑張れるんです。朝日さんとはオリンピック出場という目標が完全に一致したので、そこに向かって進むだけでした」

### 五輪出場・今後のビーチバレー

---2012年のロンドンオリンピックを振り返っていただけますか。

「僕はオリンピック出場を目指してビーチバレーの世界に飛び込んだのですが、まさか2回も出場できるとは思っていませんでした。とくに昨年のロンドンでは、1万人を超える観客のひとりひとりがビーチバレーを心から楽しんで応援してくれました。そんな環境でプレーできたことは、代えがたい経験になりました。ロンドンで勝利することはできなかったのですが、それも決して無駄にははいけません。負けた悔しさ、世界の強さを後輩たちに伝えていくこと。また世界的に見た日本のビーチバレーの状況をビーチバレーに関わるすべての人たちにアピールし、今後の日本の課題を浮き彫りにすることもできた大会だったと思っています。」

近年はビーチバレーの派手な部分がクローズアップされて、スポーツとしての本質を見失っている傾向があるのではないかと懸念しています。日本のビーチバレーが世界から立ち遅れているいま、基本に戻り、スポーツの本質を見つめ直していくことが必要です。

見た目の派手さだけでなく、オリンピックに出たい、アスリートとして上を目指したいという選手が数多く育ってほしいですね」

---白鳥選手自身のこれからの活動は？

「具体的なことは決まっていますが、いままでのパートナーの存在が大きかったので、次のパートナー選びは慎重になりますね。僕はビーチバレーは生涯スポーツだと思っているので、オリンピックを目指すような大会に出なくなったとしても“引退”という言葉は使わず、『一線を引く』という言い方になるかもしれません。ローカルな大会に出場している40歳、50歳のプレーヤーはたくさんいます。」

どんな形にしろ、これからは僕が経験してきたことをしっかり伝えていきたい」

「平塚ビーチパークみたいにきれいな浜辺にコートが常設されて、ビーチバレーができる環境は、なかなかないんですよ。ボールも貸してもらえりし、みなさんにも手ぶらで来て楽しんでもらいたいですね」

### Profile 白鳥 勝浩 (しらとり かつひろ)

1976年10月29日生まれ(36歳) 東京都大田区出身  
中学からバレーボールを始め、名門、東亜学園高校で春の高校バレー準優勝とインターハイ全国3位を経験。東海大学に進学後は、全日本インカレで準優勝と活躍した。卒業後はビーチバレー選手に転向。2002年よりビーチバレージャパンで10連覇を成し遂げる。2008年北京オリンピックで9位、2012年ロンドンオリンピック代表と2大会に連続出場している。湘南ベルマーレ所属 190cm/88kg